

草加市倫理法人会(11月) モーニングセミナー報告

自分が変わる。
会社が良くなる。
不況に負けない。

十一月五日(木) 第九二五回

◇ 講師 小池 博

埼玉県倫理法人会 副会長
(株)小池勝次郎商店 代表取締役

◇ テーマ 「倫理法人会で学んだこと」



倫理法人会で得たものは、自分の中に柱のようなものが出来、苦難にあってもそこから戻ることが以前より早くなりました。学んだ事の一番は明朗が大切であるという事、二番目には苦難感の捉え方で、苦難とはあなたを苦しめさせるとか懲らしめさせるという事ではなく、あなたを応援し、成長させてくれる悪魔の顔をした応援団であるという事を学びました。そして、人間の世界には原理原則があり、物の世界には物理、心には心理、言葉には論理、人間の体には生理があるのと同じように、人間の生活には倫理という生活の法則がある事を小川太郎研究員に教わりました。倫理法人会の学びとは会社と家庭を活かしてはじめて自分が成長できたと感じるものだと思います。今後自分自身が成長できるように、この倫理法人会で学んでいきたいと思っています。



吉岡 明夫 記

十一月十二日(木) 第九二六回

◇ 講師 福島 晶彦

さいたま市南区倫理法人会 副専任幹事
(有)丸福商事 代表取締役

◇ テーマ 「ちよつと良い」



中学時代運動会の終礼で尿意を我慢できずに漏らしてしまい何事にも自信が持てない日々だった。家業の精肉店を父母が営んでいたが、家業と家事に追われ数日の徹夜で、ある日母が妹の首を締め自分も死のうとし、精神病院へ入った。家事は父と妹がしたが自分は何もしなかった。母はその後退院したが、三年おきに発病し周囲の誰彼かまわず責めた。大学卒業後、家業を継ぎスーパを経営。順調に業績を伸ばしたが従業員を責め、感謝を忘れていた。倫理に出会い朝礼委員長を務め、感謝の心と気遣いができるようにになると、母の病状が改善し、社内も朝礼で誕生祝を行うなど良くなったが、妻への無関心から家庭内別居状態になった。「関心」は心に余裕がなければ生まれず、自分や他人を見る事も出来ない。予測と準備が必要だ。今では隣に妻の枕があります。

宮澤 良一 記

十一月十九日(木) 第九二七回

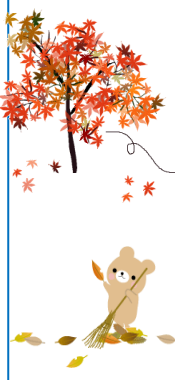
◇ 講師 小山 久雄

(一社)倫理研究所 法人スーパバイザー
(株)コヤマ 代表取締役

◇ テーマ 「凡事徹底」



幸せとは三つあり、健康、家庭円満、経済的欲求であり、その法則を学ぶのが倫理である。しかし、ただ講話を聴くだけでは意味がない。「わかる」と「できる」は違う。使わない知識はゴミである。変わらなければ、やらなければ意味がない。「凡事徹底」という意味は、カー用品で全国展開している、イーローハットの相談役だった鍵山修三郎さんという方が同名の本の中で伝えている考え方で、本の副題には「平凡を非凡に努める」とあります。当たり前のことを当たり前にやるのではなく、当たり前のことを人には真似のできないほど一生懸命やるという意味です。



吉岡 明夫 記

十一月二十六日(木) 第九二八回

◇ 講師 中村 猛

埼玉県倫理法人会 東南地区 副地区長
(株)新興設備 代表取締役

◇ テーマ 「私の人生観と倫理」



高校卒業後、就職するも一年で退社し、社会から逃避したことで自己嫌悪と劣等感に苛まれ、人間不信となった。自己を解体研磨のため、肉体労働で身体を酷使した。アルバイトで始めた水道工事に打ち込み、これを本業とし、二十六歳で独立、新興設備工業所を興しました。家庭では父母の仲が悪く、自身は父と折り合いが悪かった。倫理法人会に入会するも、一年休眠し、その後倫理に触れ、頼ってくれる人がいることに気づき、会長職を拝命した。草加市で講話した折に、河野会長より励ましをいただいた事で倫理のスイッチが入った。善悪や人の不幸はその人の心の持ち様で変わっていく。学んで実践しないことは壊れた車にガソリンを詰め込むようなものだ。私の心の詩を胸に、愛ある言葉を話していきます。

宮澤 良一 記

モーニングセミナー
毎週木曜
AM6:00~7:00

(会場) 埼玉屋旅館内
草加市高砂1-10-13
Tel 048-922-4141

(お問い合わせ先) 草加市倫理法人会 事務局
八潮市柳之宮196-14 (有)アイビルド設計内
Tel 048-998-8868 (HP): <http://www.rinri-soka.org/>